



かつやま

12月号 No.673

「今年もきれい」

ゆめおーれ勝山のイルミネーションが、今年は約1万個の電球を使用してパワーアップしました。ツリーの一番上の飾りの色が変わるのを、子どもたちが見つめています。

勝山左義長まつりのある2月末まで楽しめます。



CONTENTS Web

特集 環境教育
次世代育成委員会の取り組み
幼稚園のご紹介
「市長への手紙」のご紹介

平成22年12月9日発行

歴史の散歩道

(122)

追手坂と食い違い、
追手門に向かう道

こんな所に勝山城跡が その1

勝山本町を大野側に向かって進むと元禄坂信号があり、これを過ぎるとすぐに「追手門」(大手坂)にさしかかる。ここが町人町から通じる勝山城への入り口であり、勝山城の追手門に到達する道であった。この追手坂の傾斜地を二〇メートル程登って一旦左折し、また右折すると深谷病院前に出る。(この屈折部分は、元はもつと下の方であった)ここには、元「三の丸」を取り囲む幅一〇メートルの堀があった。堀に沿って進む、すぐ左折して進めば勝山城の追手門に向かうのである。現在のこの道は、真っ直ぐに正等寺に突き当たるが、江戸期には現在の松村秀紀家まで進んで左折し、「馬出し」の中に入り追手門に進むことができた。

この幾つもの食い違いは、いざという時に敵の侵入を妨ぐためのものである。これは元武家屋敷(元町二丁目)内などあちこちに設けられ、現在もその名残が残っている。

現在は、三の丸堀跡も屋敷地に取り込まれ、堀の外回りの道だけがそのまま残り、堀跡の面影は全く感じられない。明治九年(一八七六)に三の丸跡で製糸工場が操業を始めたことで「三

の丸製糸」と呼ばれ、織物の町勝山の先駆けとなった。

追手坂の登り坂は、勝山城の要害の働きを持っていた七里壁(九頭竜川河岸段丘)を登っていく道であったが、段丘の上部分には天保十二年(一八四二)に藩の読書堂が、その二年後には藩校成器堂が設けられ、勝山教育の基が築かれた。

文化財保護委員 増田公輔



家 中屋敷

勝山城郭復元図(部分)



左角は金崎家、突き当たり正等寺



追手坂と標柱

人口の動き

	10月末現在	自然動態			社会動態			11月末現在	月間増減
		出生	死亡	計	転入	転出	計		
男	12,560人	7	17	-10	13	23	-10	12,540人	-20人
女	13,750人	11	14	-3	15	31	-16	13,731人	-19人
合計	26,310人	18	31	-13	28	54	-26	26,271人	-39人
世帯数	8,258世帯							8,239世帯	-19世帯

編集後記
いよいよ冬本番が近づいてきました。皆さん雪の準備はお済みでしょうか?
冬はスキージーズンでもあり、勝山では冬の風物詩の勝山年の市、勝山左義長まつりと、寒くても賑やかな行事がある季節でもあります。
今年ももうすぐ終わろうとしています。今年も一年「広報かつやま」をお読みいただきありがとうございました。来年も引き続きよろしくお願いたします。

交通事故発生状況

※高齢者=65歳以上

件数内訳	平成22年11月末	前年比
総件数	429件	+30
人身事故(うち高齢者)	64件(50)	+8(+17)
死者(うち高齢者)	2人(1)	0(0)
傷者	68人	+8
物損事故	365件	+22

12月の納税

固定資産税▶3期
納期限▶12月27日(月)
口座振替▶12月22日(水)

看護師募集

薬剤師・保健師・臨床工学技士も募集しています。
看護職を目指す学生さんは奨学金制度をご利用ください。
詳しくはホームページをご覧ください。
<http://www.fsih.jp/>
「当院だけの特典」もご覧ください。携帯からのアクセスはQRコードより

社団法人 全国社会保険協会連合会
福井社会保険病院
■お気軽にお問い合わせください(庶務課) TEL.0779-88-0350

ご提案。

お客様からご相談いただいた不動産の有効活用を
使用頻度が低い・低利用地、長期放置されている土地、利権地の収益性を確保したい、現在利用中の土地建物を再投資して収益を上げたい、退職後の不動産運営で収入を増やしたい、老朽化・収益低下した賃貸物件の今後の運営見直し、対策を立てたい、企業立派から管理運営まで、デベロッパー、ハウスメーカーが総合的に駆けつけ、専任スタッフによる賃貸運営

一般不動産投資顧問 国土交通大臣 第407号 福井県知事 第1206号
(有)せいおう不動産
勝山市本町1-2-11 TEL.0779-88-5880

広告のお申し込みは
秘書・広報課まで



⑨ 荒土小学校 5年生の炭焼き体験の様子。植樹活動もしました

⑩ 勝山北部中学校 新聞の環境問題記事を学習・討論しました

⑪ 勝山南部中学校 年に2回の花壇造り。今年はコンクールで大賞を取りました

⑫ 勝山中部中学校 ホタルが飛ぶ浄土寺川の清掃の様子

⑧ 野向小学校 地引網体験の後、気比の松原でゴミ拾いを行いました

⑦ 北郷小学校 毎月3のつく日にペットボトルキャップとアルミ缶を回収しています

⑥ 三室小学校 児童が育てたサツマイモのつるでリース作り

⑤ 平泉寺小学校 ちよっぴりエコな活動をした児童はエココインを貯金し、学校全体で毎月枚数を発表します

④ 村岡小学校 ミチノクフクジュソウの保全を呼びかける看板作り

③ 成器南小学校 ゴーヤでグリーンカーテン作り

② 成器西小学校 EM菌でプールをきれいに!



ミチノクフクジュソウの保全活動（村岡小学校）
ミチノクフクジュソウは太陽の光が当たらないと花が咲かないため、枯れ草を取り除く作業を毎年5・6年生が行っています。

エコロジー エデュケーション

～学校のエコな取り組み～

勝山市では現在「エコ環境都市」を目指し、平成24年度開催予定の「第20回環境自治体会議 勝山大会」に向けて、さまざまな取り組みを行っています。市内の小中学校でもそれぞれエコに関する特色ある取り組みが行われています。今回は各校の取り組みの一部をご紹介します。



ミチノクフクジュソウ（北谷町）



環境省（東京都）で発表した村岡小学校代表の4人。（左から小林篤生君、小寺詩雪君、西野菜月さん、寺山菜月さん）

■村岡小学校が 林野庁長官賞を受賞

環境省が主催する平成22年度第45回全国野生生物保護実績発表大会において、村岡小学校が3年前から行っているミチノクフクジュソウの保全活動が林野庁長官賞を受賞しました。

ミチノクフクジュソウは国・県の絶滅危惧種に指定されている植物で、勝山市指定の天然記念物です。県内では、唯一北谷町にだけ群生しています。

村岡小学校では、平成20年から原エコプロジェクトおよび県・国と連携して、自生地の草刈りや枯れ草集めを実施し、保護を呼びかける看板の作成・設置も行っています。

遊んで学ぼう!

～幼稚園は学校教育の始まり～

幼児はいろいろなあそびを通してたくさんのことを学び、身につけていきます。

☎ 学校教育課 (☎88 - 8112)

■体力の向上

園庭などで思いっきり遊ぶことで健康な心と体をつくります。



手をつないで一輪車

■社会性・道徳性

他者への思いやりや、きまりを守るうとする気持ちを育てます。



交通安全マスコット渡し

■思考力の基礎

遊びの中で考えたり、試したり工夫することで思考力を伸ばします。



草すもう「どっちが強い？」

■言葉の獲得

読み聞かせを通して、先生や友だちとコミュニケーションを楽しみ、話す力や聞く力が育ちます



お話大好き!



幼稚園で
身につく力

幼稚園では、
「思いっきり遊ぶこと」
「表現すること」
「集中すること」
を通して、生きる力を育みます。

■表現力

ごっこ遊びを通して感じたことを自由に表現したり、自然に触れたりする中で感性を豊かにします



お姫様に変身 自然を満喫

～そして小学校へ～

遊びを通して学ぶ楽しさを知り、小学校への学習意欲にもつながります。また、小学生の児童との交流活動を多く取り入れています。



～学校評議員制度～

小学校長や地域の皆さんに幼稚園評価を委託し、幼稚園内容や運営について意見を求め、一層開かれた幼稚園を目指しています。



勝山中部幼稚園

「小さい頃から絵本に親しみ、読書習慣のある子に！」と家庭教育学級などを通して保護者にも啓蒙。毎週のお母さんの読み聞かせは好評です。

☎ 勝山中部幼稚園 ☎88-1271

成器南幼稚園

広い砂場と雨でも遊べる砂場、豊富な大型遊具を使って、思いっきり体を動かして遊べる環境です。

☎ 成器南幼稚園 ☎88-1328



次世代育成委員会の取り組み
子どもの数が年々減少していく中、市では、家庭・地域・学校が連携して、これからの「わがまち子育て支援」の在り方を考えることを目的として、次世代育成委員会を立ち上げています。今年度にも各地区で行った取り組みをご紹介します。

子どもはわがまの国

遅羽地区



6月から3か月間公民館で、小学生太鼓教室を開催しました。10月の三室まつりで成果発表をしたところ、大変好評でした。

鹿谷地区



9月に鹿谷小学校4年生18人が、3泊4日で「鹿谷町合宿通学」を体験しました。その中で山岸市長との対談も行われました。

荒土地区



夏休みに行われた町民ラジオ体操祭で、小中学生の指揮のもと、元気よく体操しました。

平泉寺地区



10月に地域住民と子どもたちとのふれあいを目的に、もちつき交流会が開催され、大人に教わりながら楽しくもちつきをしました。

野向地区



野向町ふるさと夏まつりでは、景品配付やパフォーマンスコンテスト、太鼓などに小中学生が積極的に参加しました。

村岡地区



6月に村岡小学校4年生42人が、3泊4日で「わくわく合宿通学」をしました。ボランティアのかたと協力して、班別学習などを行いました。

勝山地区



勝山地区内21の子ども会を一堂に集めての合同クリスマス会を昨年に引き続き、12月4日に開催します。(写真は昨年の様子)

北郷地区



「北郷町わくわく合宿通学」が9月に行われ、北郷小学校の4年生11人が大人と一緒に夕食の準備、片付けなどを通じ、いろいろなことを学びました。

猪野瀬地区



10月の町民運動会では、中学生が自ら企画した競技に参加しました。また、競技役員として運動会をスムーズに運営し、大会を盛り上げました。

「市長への手紙」のご紹介

毎年、9月の市民提案月間に伴って募集する「市長への手紙」。今年「第5次勝山市総合計画について」をテーマとして募集したところ、建設的なご提案やご意見を5件いただきました。

その中から、手紙の内容とその返事の要約をご紹介します。

※秘書・広報課では、日頃から皆さまからのご提案、ご意見を受け付けています。

◎ 秘書・広報課 (088-11114)



勝山市における体育施設のあり方検討委員会から「競技スポーツだけでなく、生涯スポーツやコミュニティスポーツなどの推進、健康増進やメディカル的な施設の整備など、市民が集まる体育施設の整備を望む。」との中間報告がありました。

また、市に提出された約6000人の市民の署名による「総合体育館建設を求める要請書」では、「新体育館ができれば、国体のような全国大会だけでなく、大きなコンサートや各種イベントなども開催でき、勝山市の交流人口の増加や経済効果の増大が見込まれる。」との期待が寄せられています。

そして、勝山市において全国レベルの大会が数多く開催されるようになり、トップアスリートの競技を目的にたりにできるようになることは、子どもたちをはじめ、多くの市民への刺激となり、正に夢や元気を生み出す原動力になるものと考えています。

「新体育館の建設は本当に必要か」 学校再編で生まれる 空き施設の活用を

新体育館の建設については、多くの市民の長年にわたる夢であり、また平成30年国民体育大会パドミントン競技会の開催に向けて、市民の皆さまのご理解をいただく中で、第5次勝山市総合計画の中に位置づけていきたいと考えています。

新体育館の機能や規模については、

もちろん、こうした大きなプロジェクトは、市の財政の現状および今後の見直しを見極めた上で進めるべきものであり、そのことは十分検討していきます。

より良い建設に向けて、今後さらさら議論を重ね進めていきたいと考えています。

「里山(長尾山)と川の整備」

自然環境の保全の取り組み、

日本本来の里山に

長尾山総合公園は、年間40万人以上の来館者を誇る県立恐竜博物館、勝山特有の緑豊かな美しい自然を有する県内屈指の公園であります。また、今年博物館開館および開園10周年を迎えることができました。

これまで市民の皆さまをはじめ、県内外からの来園者が安全で安心して自然に親しんでいただけよう公園の維持管理などを行ってきましたが、広大な敷地内に豊かな自然を有しているが故にクマ、イノシシなども出没しています。これまでも電気柵の設置、下草刈りを実施するなど対策を講じています。

今後も引き続き、公園内の豊かな自然環境を保全するとともに、獣の住みにくい里山を創出するための緩衝帯の整備の検討、および維持管理に努めていきますので、ご理解とご協力をお願いします。

「暮らしのガイドブック」 作成に向けて

株式会社サイネックスと 共同発行協定を調印



11月26日(金)、勝山市は株式会社サイネックスと、市役所での手続きや補助金制度などの行政情報を掲載した「暮らしのガイドブック」を共同発行する協定を締結しました。

「暮らしのガイドブック」は、平成15年から毎年、市が独自で作成してきましたが、今後はこれまでの行政情報に加え、医療機関などの地域の情報や、事業者の広告を掲載し、これまでに以上に実用性の高いガイドブックを作成し、配布することとなります。なお、印刷から発行にかかる経費は、掲載される広告料で賄われるため、市の負担はありません。

「暮らしのガイドブック2011年版」の配布時期は、平成23年6月の予定です。

◎ 秘書・広報課 (088-11114)

市長となんでも語ろう会

小中学校再編、新体育館建設について 市の再検討案を掲示

11月10日(水)、14日(日)、20日(土)の3日間にわたり、市内3中学校区別に「市長となんでも語ろう会」を開催しました。

今回は、これまで提示してきた小中学校再編、新体育館建設などに関する市の素案に対する市民の皆さまからのご意見・ご提案を踏まえて、再度検討した結果および現時点での市の基本方針を説明しました。

参加された保護者や地域住民のかたからは、再提案の内容を踏まえた上での今後の再編方法や通学手段の確保、新体育館の建設費などについて、ご意見などをいただきました。

今後も、市民の皆さまとの議論を踏まえ、次代を担う子どもたちにとってより良い教育環境の実現を目指していきます。また、新体育館の建設については、誰もがいつでも気軽に参加でき、より高度な技能の向上が図れるスポーツ環境の整備・充実を目指し、市民の皆さまと一体となって進めていきます。

※「市民となんでも語ろう会」の議事要旨については、後日ホームページで公開します

小中学校再編、新体育館建設に関する現時点での市の基本方針

- 1 学校再編と新体育館建設について、それぞれ別途に進めます
- 2 中学校については、素案に示した1校に再編する案にこだわらず、段階的に再編を進める2校案も検討し、現時点では目標年次を定めず、できるだけ早い時期の再編を目指します
- 3 小学校については、それぞれの地域の意思を十分尊重することを基本としながら、今後の再編のあり方について議論を重ねていきます
- 4 新体育館については、利便性の高い市街地において、平成30年の国体開催が可能となる時期までに建設を進めることとします



説明する山岸市長



市長となんでも語ろう会の様子

Table showing budget and expenditure for various categories like Council fees, General expenses, etc.

(注) 予算額、収入済額、支出済額には、繰越明許費を含みます

市債の活用について

市債は市が大型事業を実施するために国などから資金を借り入れる長期債務(借金)です。本来、その年度に使う経費はその年度でまかなうのが原則ですが、公共施設の建設などには、一時的に多額の費用がかかること、将来の世代にわたって利用されることなどから、財源の不足を補い、年度間の財政負担を平準化し、次の世代にも費用を負担してもらうことで世代間の負担を公平にする効果があります。市では、市債の中でもなるべく普通交付税として後年度に国から財源措置される市債の借入れを行うこととしており、災害復旧事業や総合的な経済対策事業に充てています。9月末現在の残高は88億1,751万円(前年度月末比2.6%の減)となっていますが、そのうち57.4%にあたる50億5,789万円が普通交付税として後年度に財源措置されます。

Table showing the breakdown of municipal bonds by purpose, such as Education, Infrastructure, etc.

また、現在高88億1,751万円のうち借り入れ利率別の内訳は次のようになっています。市では国から認められたものについては積極的に繰上償還を行うなど、高い金利市債残高の減少に努めています。

Table showing interest rates and ratios for municipal bonds.

Table showing budget and income for various categories like Taxes, Grants, etc.

特別会計予算執行状況

Table showing budget execution status for special accounts like Education, Sewerage, etc.

市税の収入状況

Table showing municipal tax revenue status, including Citizen Tax, Property Tax, etc.

市債の状況

Table showing the current status of municipal bonds.

平成22年度

一般会計 特別会計

上半期の状況

一般会計予算の執行状況(9月30日現在)

市では、年2回、市の財政状況を公表しています。今回は、平成22年度予算の上半期(4月1日から9月30日)における予算執行状況や市税の収入状況などをお知らせします。

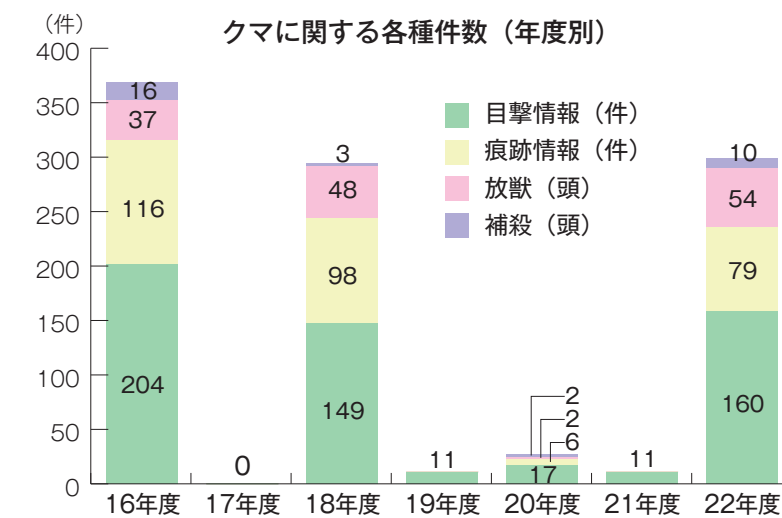
今年度の鳥獣害状況について

今年度は、市内各地でクマが頻繁に出没し、人身被害(4件)も起きました。

また、イノシシやカラスによる被害も増えています。これらの捕獲状況・市の対応および取り組みについてお知らせします。

(データ提供: 林業振興課 ☎88-8121)

※有害鳥獣駆除は、いずれも猟友会のご協力を得て対応しています



平成22年度クマに関する各種件数

Table showing the number of bear incidents: 目撃 160件, 痕跡 79件, 放獣 54頭, 補殺 10頭.

(数字は11月29日現在)

県調査によると、奥山の木ノ実が凶作であったため、エサを求めてクマが集落付近へ移動してきたと考えられます。これは、大量出没した平成18年度と同様の傾向でした。

クマ出没時の市の対応

- クマの出没時は、猟友会、警察、区長、市の関係課、県自然環境課および自然保護センターなどと連絡を取り合い対応しました
クマが頻繁に出没する場所には、クマ用の捕獲檻を設置し、捕獲した場合は、山奥へ放獣することを基本としています。人身被害の防止を優先するために、やむをえず捕殺したケースもありました
クマの出没情報を、市民に緊急メールで配信、被害防止のためのチラシを3回全戸配布し、また、防災無線や広報車により注意喚起の強化を行いました



檻の設置状況

クマについては、冬の訪れとともに目撃や捕獲などが少なくなっていますが、今後とも十分にご注意ください。

イノシシ・カラスの対応

- イノシシによる農作物被害の防止、軽減を図るため、各地区からの捕獲要請を受け、市内各地に58基のイノシシ檻を設置。昨年の6倍の捕獲数となっています。捕獲後の最終処理は、地元のご協力をいただきました。
カラス対策として、7月中旬から10月下旬にかけて、カラスの捕獲檻を新規に設置し、猟友会のご協力のもと、駆除を実施しました

イノシシ・カラスの捕獲状況

Table showing capture status: イノシシ 22年度捕獲 181頭, 21年度捕獲 31頭; カラス 22年度捕獲 107羽, 21年度捕獲 0羽(未実施).

(数字は11月6日現在)



カラスの捕獲檻

捕獲されたイノシシ

おじいちゃんへ

あまり顔を見せなくてごめんなさい
がんと闘っているおじいちゃん
カッコいいよ

たかくにより

嶋田 宇訓 (村岡小学校5年)

小学生の部

優秀賞



ことばの贈り物

“ありがとうメッセージ”

入賞作品発表

思いやりや感謝の気持ちを言葉で表した、大切な人への“ことばの贈り物”。
今年もたくさんの応募がありました。(応募総数1200点)
皆さんも、大切な人に「ありがとう」の言葉を贈ってみませんか。

(順不同・敬称略)

ゆう太君へ

ゆう太君は、いつも笑顔ですね
ぼくは、その笑顔が大好きです
ずっと仲良くしよう

茂都より

中村 茂都 (成器南小学校4年)

赤ちゃんのはる太くんへ

はる太くんのにこにこえがおで
ぼくは元気がますますでできます
早く大きくなってね

てつやより

秦 哲也 (北郷小学校5年)

野球部の部員へ

3年間ありがとうございました
いっしょに流した汗と涙
僕は、一生忘れません

有島 知志より

有島 知志 (勝山南部中学校3年)

中学生の部

優秀賞

おてんきさんへ

晴れたり、雨がふったり、
雪がふったり
おかげでおいしいやさいが
食べれます

ちさとより

高田 千聖 (鹿谷小学校2年)

ひいおばあちゃんへ

おばあちゃんがいたから、
今のぼくたちがいるんだね
命をありがとう 長生きしてね

ゆうたより

高田 悠汰 (鹿谷小学校3年)

おばあちゃんへ

いつもおいしい野菜をありがとう
野菜が好きなのは、
おばあちゃんのおかげなんだよ

山内 菜緒より

山内 菜緒 (勝山北部中学校2年)

遠くに住んでいる親友へ

あなたの手紙が、
いつも私の心のよりどころ
離れても、友達でいてくれて
ありがとう

海咲より

大下 海咲 (勝山南部中学校2年)

やさしいおねえちゃんへ

けがしたとき
だいじょうぶってきいてくれて
ありがとう
おねえちゃんだいすき

かなより

内田 佳那 (野向小学校1年)

多田 泉 (勝山中部中学校1年)
松田 茉奈 (勝山南部中学校1年)
笹木 静夏 (勝山南部中学校1年)
長田 涼佑 (勝山中部中学校2年)
久保 美咲 (勝山北部中学校2年)
山下 玖美 (勝山中部中学校3年)
石川 奈穂子 (勝山南部中学校3年)
中尾 駿介 (勝山南部中学校3年)

入賞

お母さんへ

「ありがとう」この言葉で
心がなごむ
お母さんこちらこそ、
いつもいつもありがとう

そうなより

加藤 颯捺 (勝山中部中学校1年)

入賞

手塚 涼介 (平泉寺小学校6年)
田中 陸 (野向小学校5年)
森石 美桜 (荒土小学校5年)
酒井 夏瑞 (三室小学校5年)
小林 純菜 (村岡小学校4年)
本田 悠斗 (村岡小学校4年)
木下 萌音 (成器南小学校4年)
田中 詩月 (村岡小学校3年)
中村 洋喜 (荒土小学校2年)
古川 歩輝 (成器西小学校1年)
小山 陸 (成器南小学校1年)
田中 颯 (野向小学校1年)

景観計画素案の地区別説明会での主な意見

勝山市では、景観計画の素案を策定後、市民の皆さまのご意見をお聞きするとともに、計画へ反映することを目的に、市内10地区で説明会を開催しました。

説明会では、直接市民の皆さまのご意見を聞く中で、各地域に残る素晴らしい景観はもとより、市内全域にわたる勝山市特有の眺望景観を保全することへの意識の高さを感じました。

ここで、説明会でいただいたご意見とそれに対する回答をいくつかご紹介します。



ご意見	市からの回答
Q. 個人の田んぼの畦畔を直す際、コンクリートでなく石積みを強制するものなのか。	A. 石積みはすばらしいですが、今回の計画ではそこまで強制するものではありません。
Q. 景観計画により法的制限がかかれば、経済効果に悪影響が生じるのではないのか。	A. 大規模行為に該当する場合、景観配慮の指導がされますが、行為そのものを禁止するものではありません。
Q. 景観を阻害する建築物は事前に規制が必要であり、完成してからでは遅いのではないのか。	A. 市内全域において、大規模行為や特定景観計画区域内における建築物などは、事前に届け出をしていただき、景観への配慮を求めることとなります。
Q. 景観計画では建築物の色まで制限するとなっているが、色の使用は個人の自由ではないのか。	A. 特に景観に大きな影響を与える延べ床面積500㎡以上の大規模な建築物が対象になります。
Q. 景観重要建造物や景観重要樹木に指定された場合、制限がかかるため補助制度が必要ではないのか。	A. 個人の財産を公の財産と捉えて適性な維持管理が必要となるため、何らかの支援制度の検討を予定しています。

【その他のご意見】

- 景観計画は非常に立派な計画だと思う。よって、景観の指導が行われるべきで、その仕組みが必要である
- 飯山市のように、屋外広告物の規制は強化すべきである
- 耕作放棄地、松枯れ、資材置き場の改善が必要。また山土砂の採取に対し、市からの指導を徹底すべきである
- 公園の樹木や街路樹は自慢の景観であり、自分の家の前の落ち葉の後始末は自分ですべきである
- 山際の荒れた農地にどんぐりやナラの広葉樹を植えれば、グリーンベルトにもなり景観によい。併せてクマ対策にもなるのではないのか

◎ 都市政策課 (088-81008)

まちづくりセミナーの開催

景観をどのようにまちづくりに活用したらいいのか、これからの住民主導の景観づくりを考える上で、ぜひお役立てください。

と き ▼ 12月20日(月)
午後2時15分～4時30分

受付 午後1時30分～

と ころ ▼ 勝山市民会館 大ホール

主 催 ▼ 福井県都市計画協会・福井県内容▼

◆ 事例紹介(都市政策課職員)
「E+コミュニケーション構想と景観計画」

◆ 講演
演 題 ▼ 「なぜ今景観なのか
—成長から持続に向けたまちづくりのために—」

講 師 ▼ 内村 雄二氏
(福井工業大学土木環境工学科教授)

※講師の主な経歴

- ・ 福井県都市計画審議会委員
- ・ 福井市都市計画策定委員
- ・ 勝山市都市計画審議会専門委員
- ・ 勝山市景観審議会委員

定 員 ▼ 200人(先着順)

入 場 料 ▼ 無料

勝山市景観計画(素案)の概要説明(第6章・第7章・第8章)



第6章 景観重要公共施設の整備に関する事項
および占用許可の基準について

市民に親しまれ、また景観形成上大きな影響を与える道路、河川、公園などの公共施設のなかで、特に重要と位置づけられる公共施設において整備方針を定め、周辺地域の景観と一体となった整備を図ること、良好な景観形成を図っていきます。

勝山市の景観を特徴づける眺望景観を形成する要素の一つに、市街地外縁部に広がる美しい田園集落景観があります。

雄大な山並みの前景となる農地、河岸段丘の特徴ある地形と融合した石積み、農地や山間の中に点在する集落や鎮守の森など、人々の営みの中で生まれ、育まれてきた農業景観には特有の美しさがあり、人々の心の原風景となる大切な景観です。

国が定めた景観法の仕組みの中には、景観保全の観点から農地の維持管理に対し一定の制限が加わる仕組みも用意されていますが、現時点において



第7章 景観農業振興地域整備計画に関する事項について

は、そこまでの内容を景観計画に組み込むことはできないと判断しました。ただし、農地を保全することの重要性を計画の中で記述することとします。

第8章 計画の実現に向けて

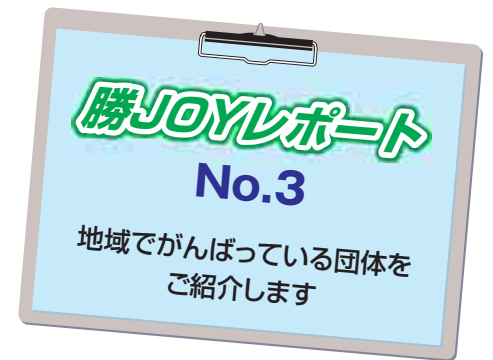
景観は、人々の営みの積み重ねによって形づくられるものであるとともに、勝山市に暮らす人々全てが景観づくりの担い手です。

景観計画では、市民・事業者・行政の責務を明確にし、行政は景観計画の実現に向けて、主役である市民のかたがたに対し、適切かつ継続的な支援に取り組んでいきます。

【市民の責務】
良好な景観の形成に理解を深め、積極的な役割を果たすよう努めることにも、市の施策に協力します

【事業者の責務】
良好な景観の形成に自ら努めることにも、市が実施する施策に協力します

【市の責務】
良好な景観の形成を図るため、総合的な施策を実施する。また、施策の策定および実施にあたっては、市民、事業者の意見を反映させます




キラリと光る

婦人団体ご紹介

勝JOYレポートの第3弾をお届けします。
 今回ご紹介するのは、昔ながらの団体でありながら、会員同士の親睦などを通じて、楽しく活発にがんばっている婦人団体と、自主的なボランティア活動で地域に貢献しながら、自分たちでも楽しく自由に行事を行っている団体です。
 両団体とも、とてもいきいきと活動されています。

遅羽町婦人会



9月に金沢散策を行いました


◎活動内容
 カタクリまつりやクリーンアップ大作戦、敬老会、三室まつりなどに参加し、地域の他団体と一緒に活動しています。遅羽町全体での親睦交流のウォーキングやグラウンドゴルフ、運動会や料理教室にも積極的に参加しています。なかでも「三室まつり」では、手芸や趣味の作品など会員の力作を多数展示したり模擬店にそばを出したり地元の踊りを披露するなど、大いにまつりを盛り上げています。

◎みんなで楽しく活動を！
 今年は、会員が楽しみながら交流が持てるように金沢散策やバーベキューを企画したところ、会員の半数が参加し「こんな楽しいことならもっと参加したい!!!」という声がありました。これをきっかけに手芸教室を開催しています。

◎今後の活動は
 遅羽町内各地区の婦人會も、駅の花壇作りや手芸教室、踊りの練習など毎年活発に活動しています。遅羽町婦人会の今後の活動は、「公民館の清掃ボランティア」「施設の訪問」などです。施設の訪問は待ちどおしく、当日が楽しみです。

会長 酒井 幸子さん

はなゆう 華友会 《鹿谷町保田区》



会員の皆さん（保田駅で）

◎活動内容
 保田駅清掃活動、花壇造り、定例会、各種行事

◎活動のきっかけとボランティア
 ちょうど区の役員を経験したことがきっかけになって、地域のために何かしたいという想いが芽生えました。平成16年に結成し、それ以来当番を決めて、一日も欠かさず保田駅のトイレ掃除、待合室の掃除をしています。

◎自分たちの楽しみも忘れない！
 月に一度例会をします。市議会を見てみたい！となれば、市議会へ出かけて勉強し、お茶会を開きたい！となればお茶会へ出かけるなど、自分たちの楽しいことも含みながら、地域の役に立てれば、と活動しています。

代表 牧野 芳子さん

新しい民生委員児童委員、主任児童委員が委嘱されました

任期 平成22年12月1日～平成25年11月30日
 新しい民生委員児童委員および主任児童委員が、12月1日付けで厚生労働大臣と福井県知事から委嘱を受けました。民生委員児童委員および主任児童委員は、福祉サービス・福祉相談のパイプ役として活躍いただきます。地域の委員にお気軽にご相談ください。
 (敬称略、順不同、カッコ内は担当地区)



民生委員児童委員名簿

【勝山】
 工藤美恵子(元町1・1～3町内)、荒井悦子(元町1・4～6町内)、高田英男(元町1・7、8町内)、曾倉正昭(元町2・2～5、7町内)、山岸祐子(元町2・1、6、8町内)、松田敏男(元町3・1、2、7、8町内)、木永つや子(元町3・3～6町内)、血澤恵子(昭和町1・1、2、3町内の一部、4町内の一部)、西川

美恵子(昭和町1・3町内の一部、昭和町2)、尾田祐子(昭和町1・4町内の一部、昭和町3)、佐久間雪子(旭町1)、松井弘(旭町2・2、5、6町内)、西内隆子(旭町2・1、3、4)、仲村龍男(旭毛屋町2、3、6町内)、深井小織(旭毛屋町1、4、5町内)、齋藤さとみ(立川町1～3町内)、山田信子(立川町4～6町内)、和田佐智子(下後)、玉木弘夫(上袋田、下袋田)、安田敬子(中後、上後、上郡)、久保すみ系(上長洲、栄町1、2)、加藤三三代(栄町3)、細野富恵(栄町4、5)、嶋田伊佐男(沢町1～5町内)、久保恵美子(沢町6～9町内)、橋本進(芳野町1～3町内)、藤澤美年子(芳野町4～6町内)、境正夫(芳野町7町内)

【猪野瀬】
 平田ミヨ子(片瀬、片瀬町)、三屋美幸(毛屋、猪野)、鳥山豊一(高島)

【北谷】
 伊藤雅子(木根橋、小原)、加藤美津子(谷、河谷、石井捷子(中尾、杉山、北六呂師)

【野向】
 西村悦郎(龍谷、竹林)、松谷九右子

【平泉寺】
 松井誠一(平泉寺上)、谷一夫(平泉寺下)、南清和(若ヶ野、大矢谷、小矢谷、上野、池ヶ原)、松田八千代(赤尾、笹尾、神野)、山内正博(大渡、壁倉、経塚)

【遅羽】
 齋藤清昭(蓬生・北山・中島)、松山千恵子(千代田・比島)、齋藤慎治(下荒井・傍崎)、酒井邦春(大袋・新道)

【村岡】
 長谷川淳一(郡町1、3町内)、林松治(郡町2、4町内)、久永やす子(郡町5、6町内)、原田由次(長山町1)、松村信子(長山町2)、中野裕子(滝波町1、2町内)、多田与土光(滝波町5町内)、笠川喜久子(滝波町3、4町内)、高野こども(浄土寺)、池田修一(寺尾、五本寺、黒原)、竜田正純(暮見、栃神谷、芳野ヶ原)

【北郷】
 津田四十四(檜曾谷、新町、志比原)、松川春美(上森川、下森川、西妙金島)、木下雅郎(伊知地、上野)、石川市夫(東野、岩屋)、松村純子(坂東島)

【鹿谷】
 島田秀夫(本郷)、廣田栄治(発坂、保田出村)、佐野美代子(矢戸口)、中川まつ子(志田、西光寺)、山内美津子(保田)、島田よし美(北西俣、竹内敏子(東遅羽口、西遅羽口、杉俣)

主任児童委員名簿
 大沢佑治・齋藤はつる(以上勝山)、楠美榮子・中村篤子(以上平泉寺、遅羽、猪野瀬)、幅田みち恵・宇佐見美知子(以上村岡、北谷、野向)、笠松洋子・森下喜美子(荒土、北郷、鹿谷)

福祉・児童課 ☎87・0777

国保

国民健康保険のしくみ

○お互いの助け合い

誰もが健康で幸福な生活を送りたいと願っています。しかし、いつどこで病気やケガをするか分かりません。そのため、日頃から保険税を出し合い、不時の出費に備えようとする仕組みが国民健康保険の制度です。

保険税を滞納し、未納期間が長期になると、医療費は全額自己負担となります。

○平成21年度の医療費

平成21年度勝山市国民健康保険医療費

項目	金額	1人当たり
医療費の総額	18億7千万円	32.8万円
被保険者の自己負担額	2億8千万円	4.9万円
保険給付費額	15億4千万円	27万円
その他の公費負担額	5千万円	0.9万円
保険税収納額	3億4千万円	6万円

平成21年度に勝山市国民健康保険でかかった医療費は、左記のとおりです。医療機関で支払われる自己負担分以外の医療費は、健康保険が負担しています。(例えば、自己負担割合が3割の場合、残りの7割分は健康保険が負担します)なお、医療費が高額になった場合、一定額以上の医療費は、高額療養費として健康保険が負担することになります。表中の「保険給付費額」は、これらのように健康保険が負担する金額を表

しています。

医療費は年々増え続けており、保険税だけでは保険給付費額を補うことができません。平成21年度の場合、保険税収納額に対する保険給付費額は、約5倍となっています。そこで、国や県の補助金、基金の取り崩しなどで、これらの不足分を補ってまいりました。保険給付費額が増加していくことは、保険税の増加に繋がります。多受診や頻回受診は控え、医療費の削減にご協力をお願いします。

自分の身体を知るために

特定健診を受診しましょう！

○毎日を健やかに過ごすために

増え続ける医療費を抑制するために、病気になるににくい身体づくりや、病気の早期発見・治療が有効です。そのためにも定期的な健診を行い、日頃から自分の身体を知り、ケアをしていきましょう。

○今年度の特定健診について

平成22年度特定健診未受診者のかたを対象に、勧奨通知と診療情報提供の依頼を送付します。なお、これらは12月中旬に発送予定です。

積極的な受診および診療情報の提供をお願いします。

☎ 市民課

(☎ 88 - 8102)

年金

65歳になったら

特別支給の老齢厚生年金を受けているかたが65歳になったときは、特別支給の老齢厚生年金に代わって、新たに老齢基礎年金と老齢厚生年金を受けることとなります。(在職中で全額給付停止されているかたも含む)

提出物▼「国民年金・厚生年金保険裁定請求書」、八ガキ(日本年金機構から送付)

提出先▼日本年金機構

提出期限▼65歳になる誕生月の末日まで(1日生まれのかたは前月の末日まで)

※届け出が遅れますと、年金の支払いが一時保留され、受け取れなくなりますので、ご注意ください

老齢基礎年金の受給手続きがお済みでないかたは、請求のお手続きをしてください。

申請場所▼市役所(国民年金のみのかた) 福井年金事務所(その他のかた)

「公的年金等の源泉徴収票」が

交付されます

公的年金などは「雑所得」とみなされ、所得税が課せられます。公的年金などの支払い者(日本年金機構・共済組合など)は、老齢年金などの受給者全員に「公的年金等の源泉徴収票」を作成して、1月31日までに交付します。これは、確定申告の際に必要となりますので、大切に保管してください。(※障害年金、遺族年金は非課税のため源泉徴収票は送付されません)

2つ以上の年金で扶養親族等申告書を提出しているかたや、年金以外に給与などの所得があるかた、また雑所得の合計が各所得控除の合計額を超えるかたなどは、確定申告が必要です。

☎ 福井年金事務所

(☎ 0776 - 23 - 4518)

市民課

(☎ 88 - 8102)



雪に備えて

まもなく冬本番を迎えます。雪に対する理解を深め、雪を克服しましょう。

◎雪に対するルールとマナーを守りましょう！

- 路上駐車はやめましょう。車道除雪の支障となります
- 水道水による融雪・消雪はやめましょう。断水の原因となります
- 重機などを使用しての大量排雪はやめましょう。側溝や水路などの雪詰まりや、付近住宅の浸水を引き起こす原因となります(大量に排雪する場合は、市指定の排雪場所へ)
- 開いたグレーチング(投雪口)には、必ず赤旗などを立てましょう。歩行者、自動車などの転落防止のためです。また、作業終了後は、必ずグレーチングを閉めましょう
- 屋根には、落雪防止のため、必ず雪止めを設置しましょう



投雪口には赤旗の提示を

ご注意ください 冬期間の水道管の凍結

水道管が凍結により破損し、漏水する事故が多発しています。各戸での水道メーターの管理をお願いします。漏水に気付かなかつたために、水道料金が高額になった事例があります。水道メーターの値を管理することで、漏水を早期に発見できます。

漏水のチェック方法

1. 家の蛇口を全部止めた状態にします。
2. 水道メーターのパイロットマーク(下の図参照)を確認します。回っていない場合は漏水はありません。
3. 少しでも回っていれば漏水している可能性があります。早急に指定給水装置工事業者に修理を依頼してください。

凍結による破損事故を防ぐために

1. 屋外の露出したままの水道管や蛇口を防寒してください。防寒方法として保温材(ポリエチレン保温筒、



パイロットマーク

☎ 上下水道課

(☎ 88 - 8109)

◎屋根雪下ろしの注意点

屋根雪下ろしの際は、安全帯の装着など落下防止の措置や見張り人を配置してから実施しましょう。

◎除雪車には近づかないで！

作業中の除雪車は、非常に危険なので近づかないようにしましょう。

◎地域ぐるみ除雪の推進

除雪には、地域ぐるみでの助け合いが必要です。特に、一人暮らし高齢者世帯などの除雪については、ご近所のかたのご協力をお願いします。

◎除雪作業員登録のお願いとご紹介について

市では、除雪作業(主に雪下ろし作業)を有料で行っていただける登録者を募集しています。また、ご希望のかたには登録いただいた除雪作業員をご紹介します。

作業を依頼するときには、期日や作業内容、料金について事前に協議してから、除雪を行っていただく予定です。詳しくは総務課までお問い合わせください。

☎ 雪詰まりなど水路・流雪関係は

消防署 (☎ 88 - 0400)

雪下ろし幹線関係は

総務課 (☎ 88 - 1116)

道路の除雪関係は

建設課 (☎ 88 - 8107)

確定申告の事前準備はお早めに

医療費控除や農業の収支計算など

申告受け付けまでに整理してください

平成22年中の収入・支出が12月末をもって確定しますと、年明け2月中旬から、確定申告の受け付けが始まります。申告会場には、多くのかたが来場されます。申告会場受け付けで領収書などの集計をしますと、他の申告者の待ち時間が増える要因となりますので、事前の準備にご協力ください。

医療費控除とは？

自分自身や家族のために医療費を年間10万円以上払った場合（所得金額が200万円以下のかたは所得の5%を超えた金額以上払った場合）、確定申告により一定の金額の所得控除を受けることができる制度です。

整理の方法

- ①受診者ごとに領収書を分類します
- ②次に、①の分類ごとに病院や薬局別の合計を求め紙にメモします

申告前のチェック事項

- ①医療費の領収書は原本ですか
- ②領収書の日付けは平成22年1月1日～12月31日の間ですか
- ③生命保険や健康保険組合などからの補てん金は医療費の合計から減額されていますか
- ④給与や年金収入の場合、源泉徴収票が準備されていますか

農業申告の準備

①農業専用の通帳から、米や野菜の販売金や過年度米の入金、補助金などの収入を整理します。家事消費米も通常販売する一俵あたりの単価を乗じて収入金額に加えてください

②農協から配布の領収一覧やその他の領収を整理し、経費の分類集計をします（農業所得用）収支計算準備表は、1月上旬には農業従事者の皆さまに、農業申告の依頼通知と併せて送付します

ご不明な点については、お気軽に税務課までお問い合わせください。

☎ 税務課 (☎88-8101)



小・中学生500人が参加

かつやま

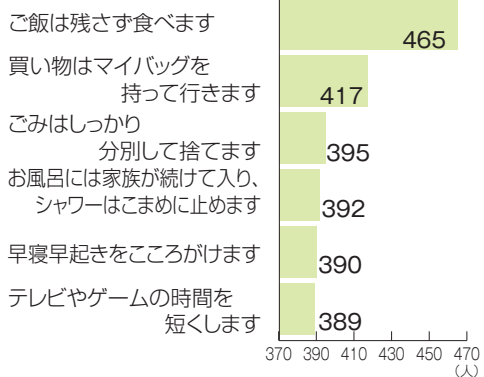
エコチャレンジ

今年度の夏休み期間中、市内の小学5年生～中学3年生を対象に、「かつやまエコチャレンジ」を実施したところ、約500人の参加がありました。

「かつやまエコチャレンジ」とは、地球環境を守るために家庭でも簡単に取り組むことができる方法の中から、いくつかを選んでエコチャレンジ目標とし、夏休み期間中に実践するという取り組みです。

参加者から提出された報告用紙を集計した結果、取り組み数が多かったエコチャレンジ目標は、「ご飯を残さず食べます」「買い物はマイバッグを持って行きます」や「買い物にはマイバッグを持っています」など、日常生活で簡単に取り組めるものでした。

取り組み数の多かったエコチャレンジ目標



また、エコチャレンジと一緒に「環境家計簿」をつけてくれた児童・生徒が約300人いました。

環境家計簿とは、1か月に家庭で使用する電気・ガス・ガソリンの量を記録することで、家庭から排出される二酸化炭素の量を算出し、それを減らしていくこととするエコ活動です。今回は、7月と8月の2か月分の記録を報告してもらいました。「冷房を28℃にするのは難しかった」「とても小さなことでも、地球にはとてもやさしいことなので続けたい」など、参加者からはさまざまな意見がありました。

簡単なことでも続けて実行することで、家庭から出るごみを減らすことができ、環境にやさしい生活を送るようになります。家族や友だちと協力して、まずできることから始めてみましょう。

☎ 生活環境課 (☎88-8104)

平成23・24年度勝山市競争入札等

参加資格審査申請および登録について

小規模修繕契約希望者

勝山市競争入札等

参加資格審査申請について

平成23・24年度において、市が発注する建設工事、工事関係委託、その他委託、物品等および小規模修繕に係る一般競争入札、指名競争入札および随意契約に参加を希望するかたは、次のとおり資格審査を行いますので、記載事項をご確認の上、申請手続きを行ってください。

※少額の発注についても、入札参加資格登録業者へ発注しますので、必ず競争入札等参加資格審査申請を行ってください。（ただし、10万円未満のその他委託、物品等および小規模修繕の場合は適用除外とします。）

申請区分▼
①建設工事：建設業法に規定する28業種

②工事関係委託：測量、土木関係コンサル、建築関係コンサル、地質調査、補償コンサル

③その他委託：清掃、警備、設備保守、廃棄物処理、調査、検査、コンピュータ業務など

④物品等：文具・医療薬品、印刷製本、写真、電気機器、消防機器、機械器具、車両類、燃料、繊維・被服、日用品、装飾、看板、楽器・運動具ほか

小規模修繕契約希望者登録について

市が発注する小規模な修繕契約のうち、内容が軽易でかつ少額な修繕契約（原則として1件の金額が30万円未満）を希望する市内に本店を有する法人や、市内に住所を有する個人事業者の受注機会を拡大しますので、登録を希望するかたは、記載事項などをご確認の上、申請手続きを行ってください。

申請区分▼

①建築関係：金属製工作物修繕、木製造作修繕、木製工作物・建具修繕、左官修繕、石修繕、屋根修繕、溶接修繕、板金修繕、ガラス・金属製建具修繕、塗装修繕、防水修繕、壁・天井、床、カーテン修繕、畳修繕

②設備関係：電気設備修繕、空調設備修繕、給水設備修繕、排水・衛生設備修繕、ガス給湯設備修繕、消防設備修繕

申請方法について

申請期間▼平成23年2月9日(水)まで

提出先▼総務課

提出方法▼市内業者は持参。市外業者は郵送可

その他▼申請要領および様式は、市のホームページでダウンロードできるほか、総務課にて配布（有料）します

URL <http://www.city.katsuyama.fukui.jp/>
☎・☎ 総務課 (☎88-1116)

ノロウイルスなどを原因とする感染症・食中毒にご注意!!

冬季は、ノロウイルスなどを原因とする感染性胃腸炎が多発する時期となります。

また、冬場であってもノロウイルスなどにより、食中毒は発生します。ノロウイルスは、おう吐や下痢、腹痛などを起こし、おう吐物やふん便を介した2次感染によって周囲の人うつす危険性があります。わずかなウイルスの付着でも感染しますので、抵抗力の弱い子どもや高齢者は、特に注意が必要です。

<予防対策>

1. こまめな手洗い
2. ノロウイルスを殺すための加熱（特に2枚貝は注意）
3. おう吐物・下痢便の処理には注意（菌が大量に含まれているため）



☎ 健康長寿課 (☎87-0888)

雪だ! 恐竜だ! 勝山だ! 2人で描こうハートジョブール

この冬、勝山で婚活イベントを開催します!

県外在住の独身女性と一緒に、スキーや市内観光名所巡りをし、ホットな出逢いで春を先どりしましょう!

とき▶平成23年2月19日(土)～20日(日)

内容▶

1日目 市内観光名所の見学、勝山ニューホテルで懇親会（かに鍋パーティー、餅つき）、宿泊

2日目 スキージャム勝山でスキー、ティーパーティー
※天候などで内容を一部変更する場合があります

募集対象▶勝山市内在住または勝山市内で勤務されている独身男性

定員▶20人

費用▶1万3000円（宿泊費、リフト券代など）

応募締切▶平成23年1月14日(金)

☎・☎ 未来創造課 (☎88-1115)





平泉寺発掘現場での説明会



本郷真紹氏による講演会

**白山と平泉寺の魅力に迫る
白山文化フォーラム2010**

■11月14日 平泉寺地区・教育会館

平成13年から毎年開催している白山文化フォーラムが開催され、市内外から多くのかたが参加しました。午前中は平泉寺の発掘現場での史跡見学会があり、今年度の発掘成果の説明がされました。午後は市民フォーラムの中で、講演会とパネルディスカッションが行われ、白山信仰の歴史背景などについて興味深いお話が聞けました。



「ふくいのおいしい水」に指定されている「中村の清水」が県補助金を受けて改修され、その完成祭が行われました。

**山間の休憩所に
「中村の清水」改修完成祭**
■11月7日 北谷町谷区

**海外選手に勝てるよう頑張る！
山口茜さん国際大会報告**

■11月10日 勝山市役所



10月末に千葉県で行われた15歳以下のパドミントン国際大会女子シングルスで準優勝した山口茜さん（勝山南部中1年）が山岸市長へ結果報告に訪れました。

**新ソバに行列・門前町にぎわう
越前大仏もんぜん市&新そば祭り**

■11月14日 越前大仏門前町



市内22店舗が参加し、地場野菜やお酒、工芸品、加工食品などの販売が行われ、とてもにぎわいました。また、おろしそばは行列ができるほどの人気でした。

**自分でヘアアレンジに挑戦！
ヘアアレンジ教室開催**

■11月15日 ゆめおーれ勝山



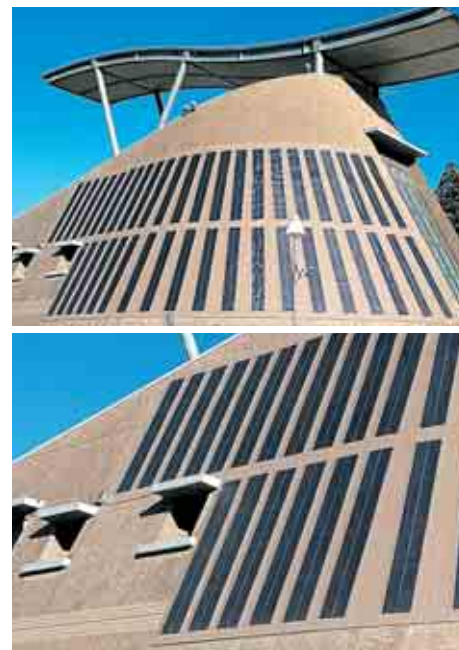
勝山公民館主催のヘアアレンジ教室に23名が参加し、プロの技術を目の前で見て、レクチャーを受けました。実際に自分の髪で編み込みなどに挑戦していました。

**会場に本場大阪の笑い
「よしもと新喜劇」公演開催**

■11月17日 市民会館大ホール



勝山市文化協会主催の芸術劇場が行われました。一般講演の前に、市内中学生700人が招待され、本場の生の笑いを楽しみました。



パネルはシリコン素材で43枚設置

**エコ環境都市のシンボルに！
太陽光発電パネルを設置**

■11月19日 かつやま恐竜の森

エコ環境都市を目指す勝山市では、かつやま恐竜の森（長尾山総合公園）管理事務所の壁面を利用し、太陽光発電ができる「太陽電池一体型防水シート」を設置しました。勝山市の環境施策のシンボルとしてアピールしていきます。



委嘱後、市長と握手をする長谷川さん



小中学生の選手対象に講演会も行いました

**勝山から五輪選手を！
長谷川さんを勝山大使に委嘱**

■11月19・20日 市営体育館ほか

勝山市出身で、元全日本パドミントンチャンピオンの長谷川博幸さんを「かつやまパドミントン大使」に委嘱しました。長谷川さんは「勝山市からオリンピック選手を出したい」と抱負を語りました。

**ジオパークを学ぼう！
ジオパーク学習支援事業開催**

■10月28日・11月1・5・17日



市内4小学校が、恐竜渓谷ふくい勝山ジオパークの中心である恐竜化石発掘地や県立恐竜博物館、恐竜化石発掘体験を利用し、理科の学習を行いました。

**「未来の鹿谷」の絵タイムカプセルに
中部縦貫道・杉保トンネル**

■11月22日 鹿谷町杉保



鹿谷小児童が描いた6枚の絵と、自分への手紙96通がタイムカプセルとして、杉保トンネル出入口付近に埋められました。20年後に掘り出す予定です。

**今年もおいしくできそうです
鯖の熟れ鮓し仕込み始まる**

■11月24日 北谷町北六呂師



北谷町の冬の伝統食「鯖の熟れ鮓し」の仕込みが始まりました。今年も2500匹を生産し、予約販売のほか、年の市や左義長まつりで販売する予定です。

**本番目指して特訓
左義長おはやし講習会始まる**

■11月30日 市民会館



勝山左義長まつりのおはやし講習会が始まりました。本番まで10回行われます。参加申し込みは下記まで。実行委員会事務局（☎88-8117）

厚生労働大臣表彰を受賞

11月11日



埼玉県で行われた「平成22年度健やか21親子全国大会」で、前田久江さん(荒土町伊波)が、長年にわたって母子保健の向上に尽力された功績として、厚生労働大臣表彰を受賞しました。

全国担い手育成推進協議会長賞を受賞

11月26日



市内で初めての集落営農法人として、女性や若手の参画など先駆的な取り組みを展開している農事組合法人「エコ・ファームてらお」が、全国担い手育成推進協議会長賞を受賞しました。

祝！おめでと〜うございませう

第10回全国障害者スポーツ大会で3位

10月23日〜25日



千葉県で行われた「第10回全国障害者スポーツ大会」で、新田鉄也さん(旭町2丁目、写真左)が一般卓球2部(40歳以上)で、木水一美さん(平泉寺町岩ヶ野、写真右)が陸上競技50m走(少年の部)でそれぞれ3位になりました。

ねりんピック石川2010で3位

10月9日〜12日



石川県で行われた「ねりんピック石川2010」で、谷内英一さん(滝波町1丁目、写真中央)がグラウンドゴルフ男性の部で3位になりました。

エコ協通信 エコミュージアム協議会、略称「H」協です。

11月の活動報告

◆第3回勝山町の市2010inじばさん 11月14日(日)

勝山をテーマにしたオリジナル曲を発表する「唄の市」が地場産センターで開催され、地元高校生バンドなど音楽愛好者9組が出場しました。ギター1本でのソロやバンドによる演奏が行われ、審査員や観客は出場者の歌に聴き入っていました。

◆勝山城絵画作品展表彰式

11月14日(日)

市内外から673点の応募があり、審査の結果、金賞7点などが選ばれました。表彰式は勝山城博物館で行われ、入賞者とその家族が出席されました。

なお、勝山城博物館

2階には、緑に囲まれた勝山城や自分が思い描く夢の城の絵が展示されています。



12月のエコ協行事

◆越前大仏「お身拭い」

12月19日(日) 午前9時〜

大仏殿に積もった今年一年のホコリを拭きます。

※一緒に清掃してくださいるボランティアを募集しています

「E」協の団体・活動紹介

今月は、市民団体をご紹介します。

◆勝山左義長ばやし保存会

保存会では、7月から、市民活動センターでおはやし講習会を開催し、12月からは、まつり実行委員会主催の講習会を市民会館で開催しています。



◆おさんぽマップ部@らぶ勝

初めて勝山へ来られたかたが、迷わず動くことができるような地図と、いち市民のクチコミ情報を載せたチラシを製作しています。

観光客はもちろん、市民のかたにも勝山の魅力をもっと知ってもらえるような情報を発信していきます。

◎ 未来創造課 ☎88-11115

北陸労働金庫勝山支店が市内小中学校に図書券(各校2万円分)を寄贈

10月17日



奥越法人会が市内幼稚園に絵本セットを、市内小学校に書画棚を寄贈

10月28日・11月11日



「勝山市のために役立てて」故泰嶽伯芳氏のご親族から勝山市に100万円の寄付

10月28日



「環境保全活動に役立てて」越前信用金庫から勝山市に44万円の寄付

11月25日



たくさんの寄付をありがとうございました



図書新着情報

図書館の行事案内は広報お知らせ版に掲載しています

一般図書

- 魔法のアイロン上達本
中村 祐一/監修 世界文化社
- ランドラッシュ
NHK食料危機取材班/著 新潮社
- 鋼鉄の叫び
鈴木 光司/著 角川書店
- 人間小唄
町田 康/著 講談社

中高生図書

- 消防官になるには
菅原 順臣/著 ぺりかん社
- 小惑星探査機「はやぶさ」宇宙の旅
佐藤 真澄/著 汐文社
- 実験でわかるインターネット
岡嶋 裕史/著 岩波書店
- ソルハ
帚木/蓬生/著 あかね書房

こども図書

- ぼうけんしよう・お金のせかい
斉藤洋とキッズ生活探検団/作 玉川大学出版部
- タブスおばあさんと三匹のおはなし
ヒュー・ロフティング/文と絵 集英社
- よくぞごぶじで
ルドウィッヒ・ペーメルマン/作 B L 出版
- ベンジーのもうふ
ドロシー・マリノ/絵 あすなろ書房

勝山市立図書館 ☎88-6000 ホームページ <http://tosyokan.city.katsuyama.fukui.jp/>